

# FIRST STEP

～ 1年の振り返りと、未来へつなぐエール ～

## 「合格」の先にある、 保育者としての第一歩

1枚の合格証書。そこには、目に見える数字以上の「努力のプロセス」が刻まれています。

保育技術検定は、単なる手先の器用さを競うものではありません。「どうすれば子どもたちが喜ぶか」「どうすれば乳幼児の安全を守れるか」を考え抜く、想像力の訓練でもあります。

3年生は、その積み重ねを経て、頼もしい背中を後輩に見せてくれました。2年生は、その背中を追いかけ、自分の課題を見つけ出した1年だったはずです。

この通信を通して、先輩から後輩へ受け継がれる「情熱のバトン」を感じてください。皆さんの学びは、今、ここからさらに深く、広くつながっていきます。

## R7 検定結果

		3級	2級	準1級	1級
音楽	受検者数	15	21	5	3
	合格者数	15	19	5	2
	合格率	100	91	100	67
造形	受検者数	25	16	2	2
	合格者数	24	16	2	0
	合格率	96	100	100	0
言語	受検者数	19	16	5	1
	合格者数	15	16	5	0
	合格率	95	100	100	0
看護	受検者数	19	16	5	2
	合格者数	19	16	5	2
	合格率	100	100	100	100
合計	受検者数	78	69	17	8
	合格者数	73	67	17	4
	合格率	94	97	100	50
級合格者数		17	14	0	0

※「合計」欄について：音楽・造形・言語・看護の4種目の合格実績を合算した「延べ人数」です。

※「級合格」について：4種目すべてに合格し、その級を完全に取得した人数を指します。

## 令和7年度 検定結果を振り返って

今年度は延べ172名が受検し、161名が合格（合格率94%）という素晴らしい結果でした！

### 看護は全級100%合格！

手順の正確さと「命」への責任感を全員が証明しました。

### 準1級・2級の躍進

合格率 準1級100%、2級97%。日々の積み重ねが確かな形になっています。

### 1級の壁に挑んだ勇氣

最難関の1級は合格率50%。造形・言語は厳しい結果となりましたが、挑戦で得た高い専門性と集中力は一生の財産です。

## 卒業する3年生からのメッセージ

### 「緊張しても、手が覚えていた」

ネガティブな考えを吹き飛ばしてくれたのは、直前まで繰り返した練習でした。本番、震える手の中でも体が自然に動いたとき、「練習は裏切らない」と確信しました。

### 「感謝！仲間と楽しみながら、つかんだ合格」

不安な種目もありましたが、友達や先生方の助けがあって合格できました。完璧を目指して気負うだけでなく、仲間と楽しみながら学べたことが一番の思い出です。身についた知識や技術を、これからも大切にしていきたいです。

### 「どん底から合格へ。努力の分だけ自信になる」

1回目不合格だった悔しさをバネに、準備不足を猛反省して練習に励みました。2回目合格をつかんだ瞬間、「頑張ってたかった」と心から思えました。あきらめずに続ければ道は開けます。皆さんも自分を信じて！私はこれからも「温かい保育士」を目指して歩み続けます。

## 後輩たちへのエール：次の一步を踏み出す君へ

### 1. 「丁寧さ」を味方につける

検定の評価ポイントは、単なる「完成度」だけでなく、そこに至るまでの「丁寧な準備」にあります。日々の小さな練習を大切にしてください。

### 2. 失敗は「発見」のチャンス

折り紙がうまく折れない、画面構成のアイデアが思いつかない、間の取り方がうまくいかない、歌の音程が取れない。それは「どうすれば改善できるか」を考えるチャンスです。先生や仲間を頼ってください。

### 3. 楽しむ心を忘れずに！

皆さんがキラキラと楽しんで取り組む姿は、いつか必ず、目の前の子供たちを笑顔にする力に変わります。まずは自分自身が「保育」を全力で楽しんでください。

あの合格者も  
やっていた！

## もう迷わない！ 分野別チェックリスト

～合格への道～

### 【音楽】

#### ☑「止まらずに」最後まで弾く流れ

多少のミスより、リズムを止めない「流れ」が重視される。

#### ☑譜面の「暗譜」と指の連動

本番の緊張下でも暗譜して指が勝手に動くレベルまで、反復練習が必要！

#### ☑笑顔で子どもを見る余裕

歌唱、ピアノとも楽譜にかじりつかず、前を向いて表現する余裕を持つ。

### 【造形】

#### ☑本番で迷わない「構図の型」

お題のテーマに対し、迷わず作業を始められる「自分なりの配置」を固めよう。

#### ☑色の重なりによる「立体感」

単色で終わらず、色の重なりや明暗を意識して「高い技術」をアピールしよう。

#### ☑制限時間マイナス5分で完成

本番の緊張を想定し、余裕を持って仕上げるスピード感を体に叩き込もう。

### 【言語】

#### ☑自然なトーンの「生きた言葉」

丸暗記の棒読みではなく、目の前の子どもに話しかけるような自然なトーンを目指そう。

#### ☑引き込むための「ため（間）」

場面転換やセリフの前で一呼吸置く。この「ため」が、聞き手を引き込むプロの技！

#### ☑全員への「アイコンタクト」

左右・中央と、架空の子どもたち全員と目を合わせる余裕を持つ。審査員はここを見ている！

### 【看護】

#### ☑動作一つひとつの「根拠」

「なぜこの角度で持つのか」など、意味を理解すると技術がスムーズになる。

#### ☑迷いのない「一連の動き」

手順を思い出しながらではなく、迷いのない一連の動きを目指そう。

#### ☑応答的な「声かけ」の工夫

単なる作業にならず、応答的な関わりを。アイコンタクトや状況中継、子どもの気持ちへの共感を意識しよう。

※上位級は筆記も難化します。早めの対策を！

## 特集：令和7年度実技試験の総括

### 【光った技術】合格の決め手は「習熟度」

1級・準1級の実技合格者は、音楽や看護での「スムーズな動作」が審査員から絶賛されました。積み重ねた練習が指先に宿っていました。また、造形や言語についても、専門的な技術力がしっかりと身につけていると高く評価されました。

### 【見えた課題】不合格の壁は「準備不足」

下位級（実技）不合格原因は、一律に「練習不足」です。これは上位級の筆記試験も同様です。「頭でわかっている」だけでは通用しません。級が上がるほど、知識を「無意識に動ける技術」まで高める必要があります。

## 🔦 次年度への戦略：練習課題は「最高のヒント」

音楽や造形は、事前に練習課題が示されています。「何が出るか分かっている」以上、準備の差がそのまま結果の差に直結します。来年度の合格をつかみ取るために、今から課題に真摯に向き合い、万全の準備を整えておきましょう。

## ☑ 担当教諭より ～その「一歩」を、確かな力に変えるために～

### 3年生の皆さん、卒業おめでとう！

皆さんが保育検定を通して得たものは、単なる「技術の証明」だけではありません。根拠となる知識を蓄え、何度も「技術を磨く」努力を積み重ねたそのプロセスこそが、保育者として子どもたちの安心を支える揺るぎない土台となりました。

その手で築き上げた技術と、「相手を思いやる心」を確かな力に変えて、新しいステージでも自分を信じ、力強く踏み出してください。

### 2年生の皆さん！

次は皆さんの番です。先輩たちの背中には、正しい知識に裏打ちされた技術の大切さを教えてくれました。壁にぶつかった時こそ、基礎から「技術を磨く」ことを楽しんでください。自分らしい表現を見つけ、さらに成長していく姿を楽しみにしています。新年度も一緒に頑張りましょう！

## 📅 編集後記

今年度、はじめて検定に挑戦した皆さんの勇気と努力に大きな拍手を送ります。この通信が、自分の成長を確かめ、次の一歩を力強く踏み出すきっかけになれば幸いです。

### 次年度スケジュール

- ・【春休み：差がつく準備期間！】ピアノ練習、道具（ハサミ・のり等）のメンテナンス
- ・4月：オリエンテーション・受験希望調査（目標を立てよう！）
- ・5～7月（前期）/ 10～12月（後期）：3・2級検定、準1・1級筆記&実技

### お知らせと注釈

- ・本文の保育検定各種目は「音楽」「造形」「言語」「看護」と略記しています。
- ・一部画像（「一歩」を象徴するシルエット等）は Google AI により生成したものを加工して使用しています。